

伊豆市資料館 企画展

地元のコトバ

民具たちの

聞いた声



2022
7/22(金)
~ 12/21(水)

伊豆市資料館 特別展示室

休館日：木曜日

開館時間：9：00～16：00（最終入館 15：45）

入館料：大人 210 円 小中学生 100 円



民具たちの

聞いた声

私たちの暮らしとともに昔からある民具は、その時代に生きる人々の「地元のコトバ」を聞いてきました。子どもたちが川遊びに使った銚もりや箱眼鏡は仲の良い兄弟の会話を、婚礼衣装は親子の別れの会話を、農夫の汗が染み込むくわ鍬や鎌は辛い農作業をまぎらわすための会話を聞いていたことでしょう。

本展では、「昔の暮らし」「言い伝え」「昔の婚礼」「昔の農作業」の4つのテーマで、伊豆市の方言（地元のコトバ）を民具とともに紹介します。また、新収蔵資料として、市民の方から新たに寄贈を受けた民具も展示します。

今も生きる地元のコトバを、民具たちの視点で振り返ってみませんか。

昔の暮らし

日常的に使われる道具は、人々の日々の生活を見てきました。
昔の日常風景と暮らしにかかわる民具を紹介します。

はこめがね
箱眼鏡もり
銚

兄ちゃん、眼鏡で見てみ？
ヤマメだあじゃ。銚を貸してくよ

言い伝え

「目籠めかごに柎ひいらぎの葉を刺すと一つ目小僧が来ない」「狐は人を化かす」
などの言い伝えは、地元のコトバで語り継がれてきました。
言い伝えとそれにまつわる民具を紹介します。

めかご
目籠

メカゴの目にヒイラギを刺しておけば
目一つ小僧がこないらしいですね

静岡県教育委員会編『静岡県史民俗調査報告書第四集 原保の民俗—田方郡中伊豆町—』より

昔の婚礼

昔の婚礼は、現在のように結婚式場ではなく自宅で行っており、
家にとっては大きな行事のひとつでした。
昔の婚礼の風景と民具を紹介します。

ちょうし
銚子

お父さん、お母さん、長い間お世話になりました
ああ、元気でやんにゃんよ

昔の農作業

現在のように機械化される前の農業は、大変な重労働でした。
昔の農作業の風景と農具を紹介します。

あしぶみだっこき
足踏脱穀機

ああ、かんだりい。
だけんど、子どもっちがてんだってくれたあで、
ちったあよかった

常設展



常設展では「自然」「遺跡」「芸術」「産業」のテーマに沿って、伊豆市の郷土に関する資料を展示しています。